

サイエンスアゴラ 2019 企画



人類はがんを克服できるのか ～がん研究の最前線～

出展：大阪大学大学院医学系研究科・免疫学フロンティア研究センター

WPI Osaka University
iFReC

Science Agora 2019

今から約 100 年前、明治時代の寿命は男女ともに約 44 歳でした。医療の進歩に伴い日本人の平均寿命は 80 歳以上に伸びました。同時にがん患者数も増加し「人生 100 年、2 人に 1 人はがんになる時代」を迎えつつあります。

私たち大阪大学は、がん治療をテーマに取り上げます。がんとは何か？という疑問に始まり、昨年のノーベル賞でも話題になった免疫療法など様々ながん治療を解説します。治療法だけでなく、遺伝情報を用いた最新のがん診断法も紹介します。

2019年

11月16・17日

10:00 - 16:00

サイエンスアゴラ ブース 512
(テレコムセンター 5Fテレコムアリーナ)

11月16日(土) 午前 10:30 より
テレコムセンター 8F 会議室 C にて
トークセッション

『原子の力でがんを治す
～注射一本の放射線治療～』

を開催します。

(詳しくは裏面へ)

Osaka University





トークセッション
原子の力でがんを治す
 ～注射一本の放射線治療～

2019年11月16日(土) 10:30 - 12:00

会議室C (テレコムセンター 8F)

ゲスト：畑澤 順 (大阪大学核物理研究センター特任教授)

聞き手：川崎 ちひろ (大阪大学大学院医学系研究科広報室)

司会：坂野上 淳 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター)

未来の放射線療法ともいえる手法を開発した大阪大学の畑澤特任教授を迎えサイエンスカフェ形式のセッションを行います。このセッションでは、「放射能の平和的利用」といった綺麗ごとにとどまらず、負の側面を含め話題提供したいと考えています。がん治療を巡る現実について来場者と意見を深め、未来のがん医療について考える機会を持っていただければと思います。がん治療と放射線医学の未来に触れたい方の来場をお待ちしています。



畑澤 順 (はたざわ じゅん)

大阪大学 核物理研究センター 次世代がん治療研究部門 特任教授
 (免疫学フロンティア研究センター兼任)

東北大学医学部卒業、医学博士。2002年より大阪大学大学院医学系研究科教授。2010年から同研究科附属PET分子イメージングセンター長を務めた。現在、大阪大学核物理研究センターにおいて医療用放射性核種の開発に取り組んでいる。

大阪大学 免疫学フロンティア研究センター



文部科学省の「世界トップレベル研究拠点形成プログラム(WPI)」のもと、2007年に誕生しました。2017年度からは、世界トップレベルの基礎研究に加えて、民間企業のバックアップを受け免疫疾患の克服にも加速しています。

大阪大学 医学部・大学院医学系研究科



幕末の医学者・教育者である緒方洪庵の精神を受け継ぎ創設されました。その規模は全国屈指を誇っています。国際的な人材交流や共同研究にも力を入れており、有力な科学雑誌への論文掲載数は全国トップクラスです。

当イベントのお問い合わせ先

大阪大学免疫学フロンティア研究センター企画室
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-1
 Tel: 06-6879-4777
 E-mail: ifrec-office@ifrec.osaka-u.ac.jp

テレコムセンターへの行き方

ゆりかもめ
 「テレコムセンター」
 から直結

りんかい線
 「東京レポート」
 から無料巡回バス3分